

令和8年2月12日開催

豊川市国民健康保険運営協議会

令和7年度第2回議事録

豊川市福祉部保険年金課

豊川市国民健康保険運営協議会 令和7年度第2回議事録

- 1 開催日時 令和8年2月12日(木)
午後1時30分から午後2時35分まで
- 2 開催場所 豊川市役所本庁舎3階 本34会議室
- 3 委員の定数 13名
- 4 出席委員の氏名
被保険者代表 緒 河 睦 子
同 小 林 尚 美
同 榊 原 るり子
同 藪 田 千 賀
保険医・保険薬剤師代表 竹 本 正 興
同 大 山 展
同 小 林 孝 治
同 伊 藤 幸 剛
公益代表 神 谷 典 江
同 福 田 正
同 久保田 久 子
同 小 林 敬 子
以上12名
- 5 欠席委員の氏名
被用者保険等保険者代表 花 井 彰
- 6 説明のための出席者
福祉部長 小 島 基
福祉部次長 松 井 誠 治
福祉部保険年金課長 松 本 謙 司
福祉部保険年金課 課長補佐 鈴 木 基 泰
同課 国保保険料係長 山 本 義 和
同課 国保給付係長 佐 藤 佳代子
同課 国保給付係専門員 大 下 律 子
- 7 傍聴者 1名
- 8 議事日程
議題 (1) 報告事項

- ① 令和 8 年度国民健康保険事業費納付金について
- ② 令和 7 年度保健事業の状況について

会議の成立

出席者数は、豊川市国民健康保険運営協議会規則第 4 条の規定の定足数に達している。

会議経過

午後 1 時 3 0 分、事務局福祉部保険年金課長の司会により開会。

○司会（松本課長）

ただ今から令和 7 年度第 2 回豊川市国民健康保険運営協議会を開催いたします。

初めに、お手元の資料、会議次第の「1」でございますが、神谷会長よりご挨拶をいただきたいと思います。

——— 会長あいさつ ———

○司会（松本課長）

ありがとうございました。

それでは議事に入ります前に、本日の協議会は、豊川市国民健康保険運営協議会規則第 4 条の規定による定足数を満たしており、会議が成立していることをご報告いたします。

なお、豊川市審議会は原則公開となっており、本協議会につきましても、豊川市国民健康保険運営協議会の傍聴に関する取り扱いに基づき、一般に公開しております。

なお、本日の傍聴人は 1 名です。また、会議録は、要点筆記により公開いたします。それでは以後の進行は神谷会長にお願いしたいと思います。

●神谷会長

それでは会議次第に従いまして、次第の「2」をご覧ください。

議事録署名委員の指名を行います。

本日の議事録署名委員には、豊川市国民健康保険運営協議会規則第 7 条第 2 項により、榊原るり子委員、福田正委員、両委員を指名いたします。

それでは、本日「3」の議題は、(1)の報告事項が 2 件でございます。

次第「3」(1)①令和 8 年度国民健康保険事業費納付金について、事務局に説明を求めます。

○山本係長

「令和 8 年度国民健康保険事業費納付金について（資料 1 ～ 5 ページ）」説明。

——— 質疑・意見の聴取に入る ———

●神谷会長

ただいま事務局から説明がありました令和8年度国民健康保険事業費納付金について、何かご質問ありますか。藪田委員の質問は、保健事業に関わることなので後ほどということです。

———— 質疑・意見聴取終了 ————

●神谷会長

皆さんご意見が無いようなので、この件につきましてはご了解いただいたということでもよろしいでしょうか。それでは、議題(1)①令和8年度国民健康保険事業費納付金についての報告は、ご了解をいただいたということで、次の議題に移ります。

議題(1)②令和7年度保健事業の状況について、事務局に説明を求めます。

○大下専門員

「②令和7年度保健事業の状況について（資料6～10ページ）」説明。
事前質問(No.1～5)も併せて説明。

———— 質疑・意見の聴取に入る ————

●小林尚美委員

特定健診受診勧奨はがきのデザインを見せていただいて、見やすくとてもいいと思います。A4版にして目に留まりやすく分かりやすくしてほしいと思う。

●神谷会長

目に留まりやすい掲示板に貼るとか、お店に貼らしてもらうなど周知するのもいいかと思う。

●小林敬子委員

イオンモールでイベントをやっていた、私も参加したがたくさん人が来ていたのでよかった。先生も居たが、敷居も低く気軽に相談することができた。

●神谷会長

イオンモールでイベントをやるのはすごくいいと思うけど、これに豊川市民がどれだけ参加しているのかと。どれ位豊川市民なのかアンケートみたいなのはどうしているのか。

○大下専門員

厳密にはとっていないが、健診の話をするときに市民かどうか尋ねると、8～9割は豊川市民の方で、地元の方が多かった印象です。

● 藪田委員

これまで何年かこの会に出席していて健診受診率30%台を越せない現実があり、視点を変えて考える必要があると思う。非常に難しいと思うが、雇っている事業主や経営者の方に、自分のところの労働者の方を健診に行くように義務化することができないかと思う。大企業の社会保険では健診を受けさせる取組みをしている。

● 小林尚美委員

年配の方は、何かしら病気でかかりつけ医にかかって検査はしている。健診に行ったか聞くと、病院に行って検査をしているから大丈夫だと言われる。質問4の回答にみなし健診のことがあるが、医師会の先生方にご協力いただいて実施できると受診率は上がるのではと思う。

● 竹本委員

検査をやっていると良いと思ってしまうが、特定健診は一応全員が受けるものなので、健診受診を勧めることが大事だと思う。あと、みなし健診が始まればある程度受診率をカバーできるようになると思います。

● 小林孝治委員

受診率が低い原因は2つあると思います。40代の若い世代から自分の体について正しい知識を持ち守っていく意識をもってほしいが、正常性バイアス、自分だけは大丈夫だ、や日常が忙しくて、優先順位が低く下がってしまう。そして、その順位を上げるのが非常に難しい。市がやっていることは非常にいいと思うが、歯磨きの歌をやっているユーチューバーがイオンモールに来たときはものすごい来場者だったと聞くので、趣向を変えてPRすることで、人々の意識を上げていかないといけない。

● 藪田委員

40歳になったら全員健診を受診するような条例を作ってくれば、豊川市は健康寿命を延ばすことに積極的な考えを持っている市として先駆けになれるのではと思う。

● 伊藤委員

皆さんのお話をお聞きして、薬局でも何か協力できることはないか、持ち帰って考えてみたいと思いました。

● 榊原委員

特定健康指導について、追加資料ありがとうございました。終了率は仕方ないところもあると思うが、連絡の取れない方がいるのが気になります。根気よくやっていただきたいと思います。

● 緒河委員

もともと健康に関心のない方を健診に振り向けるのは難しいと思うが、市の皆さんの努力には感謝します。

●神谷会長

先進の自治体で工夫されているところを見つけて、ちょっと斬新なアイデアを検討してみまじょうか。皆さん何か工夫したほうがいいってことは言われているので、事務局よろしくお願ひします。

●福田委員

お話を聞いて、まさに自分のことだと思ひながら聞いていた。持病で医療機関に定期的に行っているなので健診を受けていない。30代40代の方にPRするのに、SNSを取り入れることも考えたらいいいのかと思う。

●小林孝治委員

イベントをやつて来場者はいるのだけれど、元々関心がある人が来ている。イベントをきっかけに関心がない人に気づいてもらいたいのので、ユーチューバーという方法もあると感じている。

●久保田委員

若い世代は、健診を受けて悪いことを言い当てられることが怖くて行けないという気持ちがあると思う。女性は、フィットネスやビューティーに関して興味が強く、健康には興味関心が強いと思うが、病院には行かない。もっと活躍できたり綺麗になるような前向きのことを言われるような健診なら行きたくなると思う。

もう一つは、子どもたちの力を借りて、学校など子どもを通して親に健診に行くことを勧めることもいいと思う。

●神谷会長

学校が協力してくれるのなら、「まなびポケット」で健診受診の案内を流してもいいと思う。

まちづくりには健康は欠かせないと私は思っていますので、御協力頂けるところはいろんなところで発言頂ければと思います。よろしくお願ひします。

皆さんのご意見を一通りは頂きましたが、よろしいですか。

ご意見がないということで、議題(1)②令和7年度保健事業の状況についての報告につきましては御了解頂いたということで、次に移らせていただきます。

○大下専門員

皆さんからいただいたご意見を参考に、いろいろな視点から健診をPRできたらと思います。ありがとうございます。

———— 質疑・意見聴取終了 ————

●神谷会長

それでは、「4」その他について、事務局に説明を求めます。

○鈴木課長補佐

配付チラシ、次回の開催予定について説明。

●神谷会長

ご説明ありがとうございました。質問も無いようでしたら、これで閉会とさせていただきます。本日は、ご多忙のところありがとうございました。

午後2時35分閉会

上記、会議の顛末を記録し、この議事録は、真正であることを認め、ここに署名する。

令和8年 月 日

会 長

議事録署名委員

議事録署名委員